

令和6年度（第11回） 門真市中学生議会 記録誌



令和6（2024）年8月17日

門 真 市

門真市教育委員会

目 次

はじめに

門真市中学生議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・	1
門真市中学生議会議員名簿・・・・・・・・・・	2

開 会

市長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	4
市議会議長挨拶・・・・・・・・・・	5
中学生議会議長、副議長紹介・・・・・・・・	6
中学生議員の質問と市長の答弁	
【1】第二中学校・・・・・・・・	7
【2】第三中学校・・・・・・・・	10
【3】第五中学校・・・・・・・・	13
【4】第四中学校・・・・・・・・	17
【5】第七中学校・・・・・・・・	20
【6】門真はすはな中学校・・・・・・・・	24

閉 会

教育長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	29
-----------------------	----

資 料

議会席列・・・・・・・・・・・・・・・・	30
写真集・・・・・・・・・・・・・・・・	31

はじめに

門真市中学生議会とは

21世紀を担う子どもたちが、身近な市政や市議会についての仕組み・役割を学ぶとともに、自分たちの夢や希望を話し合った結果を模擬議会の場で質問する機会を通じ、積極的に社会参画する市民としての意識を培うことを目的として開催しています。

本年度は、市立中学校6校を代表し、22名の中学生議員が、市政や市議会について学び、門真市をより良いまちとするため、質問や提案などを考え、それを基に、2回の事前学習会において、さまざまな問題や課題について意見交換を行った上で、令和6年8月17日（土）に、市議会本会議場にて開催された「第11回 門真市中学生議会 本会議」で20名の中学生議員が発表しました。

本誌は、その記録をまとめたものです。

門真市中学生議会の開催にあたり、保護者をはじめ、学校関係者、市議会のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

門真市中学生議会議員名簿

学 校 名	氏 名	学 年
市立第二中学校	吉田 芽生 ※1	2年
	中山 美咲	2年
	鈴木 愛理	2年
市立第三中学校	岡田 莉央	2年
	若林 ゆうな	2年
	永橋 珠璃	2年
市立第四中学校	丸山 瑠香	1年
	丸谷 あこ	1年
	西堀 桃佳	1年
市立第五中学校	河野 大希	3年
	○ 松井 愛育	3年
	岩崎 このみ	3年
	菅納 彩	3年
市立第七中学校	◎ 天野 楓	3年
	楠木 充月	3年
	浅野 創太	3年
市立門真はすはな中学校	石川 龍幸	3年
	三浦 由梨奈	3年
	檜木 文愛	2年
	渡邊 樹菜	2年
	立川 盛之	2年
	日野 智央 ※2	2年

◎…議長、○…副議長

計 22 名

※1 …事前学習会、事前練習会に参加

※2 …事前学習会に参加

開 会

市長挨拶

第11回門真市中学生議会の開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日まで参加の20名の中学生の皆さんをはじめ、傍聴にお越しの保護者並びに教職員の皆様におかれましては、平素より市政各般にわたり、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この場から中学生議員の皆さんの凛々しい顔を拝見しておりますと、強い熱意が伝わってまいります。皆さんのお姿に心強さを感じているところであります。

私は旧第六中学校出身で、第六中学校は現在、門真はすはな中学校となり、第一中学校と統合されました。六中の校舎というのは現在の市役所の庁舎になります。庁舎は私の母校であり、皆さんが座っておられる議場は当時の六中の給食棟で、その前あたりの廊下を歩いていたというのを思い出します。

さて、門真市は昨年、市制施行60周年となる節目の年を迎えました。初代の市長でありました中塚種夫氏は市制施行にあたり、市民の幸福と利益のために「道路網の整備」や「産業の発展」とともに「教育の振興」を図るとの決意を述べられました。それから60年が経ち、教育環境においては、1人1台端末が導入されICTも活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、部活動の地域移行や学校給食費の無償化、また第四中学校区では、本市初となる義務教育学校が令和8年度の開校に向け建設工事が進められるなど、社会の変化に応じて、より質の高い教育等を受けることができる環境づくりに取り組んできているところであります。

また、まちの風景も大きく変わりつつあります。門真市駅以南、中央環状線沿いでは大阪モノレールの延伸工事が進められ、第2京阪道路沿線では、市営門真住宅の建て替えや北島西・北周辺土地区画整理事業による新たなまちづくりが進められております。

さらに2025大阪・関西万博の開幕まであと8か月となりました。中学生の皆さんを含む子どもの無料招待事業もありますので、ぜひ万博会場で未来社会を体験していただきたいと思っております。

さて本日、中学生議員の皆さんは、事前学習会を通して、市役所の仕事や市議会の仕組み、役割などについて学習してこられ、中学生議会議員として、門真をより良いまちにするため、一生懸命考えられたことをご質問いただけると伺っております。

私も皆さんのご質問に精一杯、ご答弁をさせていただき、皆さんからいただいたご意見やご提案を、これからのまちづくりに活かしていきたいと考えております。ちな



みに私が市長になって初めての中学生議会の時に、ご提案いただいたのが「ふるさと門真まつりの復活」です。ここでいただいたご意見に基づいて、その翌年に早速「ふるさと門真まつり」を復活させていただいたきっかけが、中学生議会でもありました。

結びに、本日の中学生議会が皆さんにとって、有意義な経験となり将来の糧となること、並びにご参集の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、私からの開会のご挨拶といたします。

どうかよろしくお願ひいたします。

市議会議長挨拶

皆さんおはようございます。

市議会議長の池田治子でございます。門真市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

20名の中学生議員の皆さん、また傍聴席には保護者の皆さまを始め、学校関係者の方々など多数のご参加をいただき、第11回門真市中学生議会が厳粛に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、中学生議員の皆さん、今、皆さんがおられる議場という場所は、普段は私たち市議会議員が市民の方々の代表として、質問や意見を述べる場所なのですが、今日は、皆さんが普段から門真市に対して関心のあることや疑問に感じていることなどを、気負わずに堂々のご発言していただきたいと思ひます。

これまでの事前学習を含め、こうした積極的なご参加は誠に頼もしく、今後、様々な場でご活躍されるでありましょう皆さんにとりまして、本日の機会は大変貴重なものであります。

市議会の仕組みや市役所の役割についても、大いに学んでいただき、自分たちのよりよい暮らしは自分たちで作っていくという思いをより強く持つていただくことを願ってやみませんし、同時に大きな期待を寄せているところでもあります。

今後におきましては、中学生議員の皆さんがますます元気で健やかに成長されますよう、お祈りいたしますとともに、ご出席の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、開会に当たっての私からのご挨拶とさせていただきます。



中学生議会議長、副議長紹介

司会

「門真市中学生議会」の議長、副議長をご紹介します。

なお、議長、副議長につきましては、学習会の際に立候補いただき決定しております。

議長を門真市立第七中学校 天野 楓
議員、副議長を門真市立第五中学校
松井 愛育 議員にお願いいたします。

なお、本日の議事進行は、前半を天野議長に、後半を松井副議長にお願いしたく存じます。

それでは、よろしくお願い致します。



天野 議長

ただいまから、「第 11 回門真市中学生議会」を開会いたします。

私は、門真市中学生議会議長の門真市立第七中学校 3 年の天野 楓です。

中学生議会の円滑な議事進行に、皆様のご協力をお願いいたします。

私たち、中学生議員 20 名は、今回、市をよくするため、学校別に学習し、疑問に思うこと、提案したいことなどをまとめてまいりました。

「住み続けたいまち・門真」にするためには、どのようにすれば良いのか、一生懸命考えてまいりましたので、お聞きいただきますようお願いいたします。

それでは、これより中学生議員による質問を行います。

初めに、第二中学校の皆さんを指名いたします。



～質問テーマ～

- (1) 子育て支援について
- (2) 門真市を多くの人に知ってもらうには

門真市立第二中学校です。

私は、2年の 中山 美咲 です。
2年の 鈴木 愛理 です。

よろしくお願いします。



1

子育て支援について

いつも門真のことを考えてくださってありがとうございます。門真二中は其中でも門真をさらに良くするために子育て支援についてと、門真市を多くの人に知ってもらうには、について質問します。

まず最初に子育て支援について質問します。

門真市では若い人が減っていて少子高齢化が進んでいます。お父さん、お母さんたちが門真市で子どもを育てたいと思えるような施設、環境、制度などを充実させる必要があります。

門真市民プラザでは小さい子どもが遊ぶことのできる場所があります。そこには様々なおもちゃがあり、そして遊びに来ている他の子と仲良くなることができます。他にもメリットはあり、子どもだけでなく保護者も他の人たちと交流することができます。他の人たちと交流できることで、子育てなど困っていることがあれば相談し合うこともできます。

そこでお聞きしたいのですが、他にもそのような施設はあるのでしょうか。また、私たちは利用することがないので、そこでどのような催しをしているのかを知らないなので教えてください。施設や催しをたくさんの人に知ってもらうためにどのような取組をしているのでしょうか。

2

門真市を多くの人に知ってもらうには

次に、門真市を多くの人に知ってもらうには、について質問します。

門真は数十年後消滅すると言われていたのを聞いたことがあります。私は生まれてからずっと門真に住んでいてこの市の良いところをたくさん知っています。なので、多くの人にも門真の魅力を知ってほしいです。数十年後も数百年後も門真が良いまちであり、たくさんの人から愛されてほしい。そのためには、若い人たちに住んでもらう必要があります。

まず、私が思う門真の魅力を確認しました。1つ目は海洋堂やラクタブドーム、コストコ、門真れんこんなどの門真市民が誇れる物があることです。2つ目は伊丹空港から乗り換え無しで来ることができることです。遠方から来られる観光客の方には大変わかりやすく、混雑する大阪市内に出向かなくとも穴場的な場所だと思います。また、京都へのアクセスも良いです。

次に、門真市の課題を確認しました。門真市には京阪の駅が5駅ありますが、全て普通電車や区間急行しか止まらないため京橋や淀屋橋、枚方市駅などの多くの人を利用する駅に向かう人たちから素通りされてしまいます。また、門真市の南の方にお住まいの方々が門真市内を移動するのに不自由な思いをしています。

ではどうしたら、これらの課題を解消することができるのかを考えてみました。1つ目は京橋駅といえばフランクフルトのように、門真の駅イコールこれ！といった名物を作り、そこにQRコードを設置し、門真市の魅力を宣伝したり、市内のお店のクーポンなどを配信するのはどうでしょうか。2つ目は、門真南ルートワゴン型バスについて市民の声に耳を傾ける必要があるように感じます。私は利用したことがありませんが、これといって便利という話は耳にしたことがありません。

課題を解消し、魅力を発信するとよりよい門真になると思いますので、これらについて、市としてどのようにお考えか教えてください。

門真市立第二中学校からは、以上です。

天野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第二中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第二中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、子育て支援についてであります。
議員お示しの門真市民プラザ内には、



未就学児とその保護者が気軽に集まり交流や相談ができる施設として、「なかよし広場」があり、その他、保健福祉センター内に「ひよこる〜む」を、砂子みなみこども園に「地域子育て支援室」をそれぞれ設置しているところであります。

各施設においては、保育士による育児相談や子育てに関する情報を提供するほか、物作りや体を使った遊びなど、親子で楽しめるイベントを随時開催しております。その他、市内公園などの公共施設に出向き、気軽に親子が参加でき遊びや相談などができる「あおぞら保育」を実施しております。

たくさんの人に知ってもらおう取組としましては、市広報紙、ホームページ及びSNSのほか、一部の乳幼児健診会場でのチラシ配布や市内の主要公園でのポスター掲示なども行い、また、利用しやすく感じていただけるよう、保健福祉センターの施設をはじめ、ホームページなどでは、親しみやすい「ひよこ」をモチーフにした可愛らしいオリジナルキャラクターも作成し、活用しております。

今後におきましても、親子が気軽に集まり、交流や相談の場として施設が利用されるよう取り組んでまいります。

次に、門真市を多くの人に知ってもらうには、についてであります。

本市では、議員お示しのフィギュアメーカーの海洋堂をはじめ世界的な家電メーカーでありますパナソニック株式会社やタイガー魔法瓶株式会社、ジェネリック医薬品メーカーの東和薬品株式会社など、有名企業の本社所在による認知度の高さに加え、令和5年4月にはららぽーと門真、8月にコストコ門真が順次開業しており、インバウンドをはじめ市外から新たな来訪者が増加しております。この機会を捉え、来訪者を市内の既存飲食店等への誘客につなげるため、6年3月には市内の飲食店等マップを作成しており、本市の誇りでもありますパナソニックミュージアムや海洋堂ホビーランド、特産品のれんこんやくわいなどについても記載しており、市ホームページ等にて広く周知しております。

また、本市の魅力をより多くの方に知っていただくために、門真市ブランドブック「かどまねき」を作成し、コンパクトでアクセスの良い立地特性や、市内外の方に楽しんでいただける見どころを写真やイラストでわかりやすく紹介し、デジタルブックとしてSNSで情報発信するほか、QRコードを大阪モノレールの車内に掲載し、デジタルブックとして見ていただけるよう周知しております。

議員ご提案の内容を参考に、今後におきましても市公式インスタグラム、X等のSNSを活用するなど、様々な形で、本市の魅力を発信し、市内外の方々に魅力を知っていただくことで定住意欲の向上、市内への流入につなげてまいりたいと考えております。

次に、門真南ルートワゴン型バスについてであります。コミュニティバスが京阪バス株式会社により運行されておりましたが、令和5年3月末をもって廃止されたため、市内中央部から地下鉄門真南駅までのバス路線を確保することを目的に、同年9月より運行を開始したものであります。

市民の声につきましては、現在、利用者アンケート調査を実施しており、その回答を基に課題を抽出し、更なる利便性の高いバス路線の構築に努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

天野 議長

以上を持ちまして、第二中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第三中学校の皆さんを指名いたします。

第三中学校 【質問】

～質問テーマ～

- (1) 門真市の中高生に勉強に挑むための最高の環境を！
- (2) 中学生と小学生の交流について

門真市立第三中学校です。

私は、2年の 岡田 莉央 です。
2年の 若林 ゆうな です。
2年の 永橋 珠璃 です。



よろしく申し上げます。

1

門真市の中高生に勉強に挑むための最高の環境を！

私たちは、学生の学力向上のためには、勉強に挑むための最高の環境を整えることが必要だと思います。

学力をつけるためには、普段から自宅で学習することが大切だと先生からは言われますが、なかなか環境が整わない場合があります。

古川橋駅前に令和7年度中に完成予定の生涯学習複合施設には新しく自習室ができると聞いています。また、市民プラザにはエアコンが完備された私たちの理想に近い自習室がありますが、門真市にはそのような施設がまだまだ少なく、校区によっては距離が遠いなどの課題があります。

そこで、私たちからの要望があります。

それは、2つの中学校区に1つ「最高の環境」が整った自習室を設けることです。なぜならば、自分の部屋がない人や、家庭的な事情がある人、静かな環境で勉強がしたいという人がいるからです。

具体的に、「最高の環境」とは①会員登録制②エアコン完備③同じ方向を向いた仕切りありの机④空きスペースにパソコン⑤図書スペースに高校・大学入試の過去問⑥コピー機設置の6つです。

①から順に必要な理由を説明します。

①は、特定の人しか入れないようにして静かな環境を保つことができるからです。

②は、年中快適な環境で勉強できるからです。

③は、友達と一緒に自習しているとき、向かい合わせになるとどうしても私語をしてしまうので、仕切りを作り、かつ同じ方向を向く事で集中して勉強に取り組むことができるからです。

④は、わからない問題などがあつた時にすぐに調べ物ができるからです。

⑤は、高校入試・大学入試の過去問を置いておくことで受験勉強に役立つからです。

⑥は、コピー機があることによって、必要な資料をコピーして家に持ち帰り、家でも高校入試や大学入試の勉強ができるようにしたいからです。

このような場所があれば、勉強できる環境が十分でない人なども勉強ができると思います。

そのため、門真市の2つの中学校区に1つの「最高の環境」の自習室を設けることを提案します。

2

中学生と小学生の交流について

次に、中学生と小学生の交流について質問します。

小学校を卒業してから母校に行くことは少ないのではないのでしょうか。兄弟の授業参観や、運動会などの行事以外でも小学校を訪れる機会がほしいと思いました。現状として、学校間の交流はありますが、中学生と小学生の個人での交流が少ないのです。

そこで、時間があるときに中学生と小学生の交流を深めていきたいと思います。

今まではクラブ活動が週に5、6回ありましたが、今、クラブ活動の形が変わりつつあります。そして、平日も一日は休みになっています。その時間を自分の自由時間とするのもいいですが、近隣の小学校の学童に行くことを私たちは提案します。

具体的には、平日のクラブがない日に近隣の小学校の学童で小学生の子たちに宿題を教えてあげたり、外で一緒に遊んだり、中学生が季節ごとのイベントを開催して交流を深められたらいいなと思います。

また、このような交流を深めることで小学校から中学校へ入学するときに不安も少し減り、学童の先生たちにも余裕ができたり、お父さん、お母さんたちの子育ての手助けになるのではないのでしょうか。

そのため、近隣の小学校に中学生が行くことを提案します。私たち中学生が学童と

の交流の場をつくることができるのか教えてください。

門真市立第三中学校からは、以上です。

天野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第三中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第三中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、門真市の中高生が勉強に挑むための最高の環境についてであります。

自習可能施設といたしましては、市南部に位置する門真市民プラザ内に学習室があり、議員ご提案の「最高の環境」には至らないものの、静かな環境で快適に自習できるよう、エアコンやフリーWi-Fiを整備するなど、中高生を含め、市民の皆様が集中して勉強に励むことができる環境整備に努めており、多くの方にご利用いただいております。

その他にも、南部市民センターには学習が可能な図書室を設けるとともに、市立公民館におきましては、空き室を自習室として開放する取組も実施しているところであります。

また、現在、市北部に位置する古川橋駅前には図書館と文化会館機能を有した（仮称）門真市立生涯学習複合施設の建設を進めているところであり、3階図書館部分には、隣の席と間仕切りした個人スペースを44席設えた静けさを保つ学習室、リモートワークにも対応可能なブース型ミーティングスペース、友達と集まって自由な意見交換を行うことができるグループ利用が可能な学習室など、種類の異なる学習環境を整えることを検討しており、皆さんにとっても、魅力的で利用したくなるよう、施設整備に努めているところであります。

これら自習可能施設については、周知をしっかりと行い、利用率を向上させることが重要と考えております。自習場所を一覧にした案内ポスター等を活用するなど、中高生の皆さんをはじめ、集中して勉強に取り組む多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、周知啓発に努めるとともに、引き続き、よりよい学習環境の整備に努めてまいります。

次に、中学生と小学生の交流についてであります。

放課後児童クラブは小学校に在籍している児童のうち、保護者の就労、病気などにより放課後家庭で保育することができない児童を対象に、異学年の児童による集団活

動の中で適切な遊び及び生活の場を設け、専門的知識を持つ放課後児童支援員が子どもの発達段階に応じた援助、育成支援を行う事業であり、本市は運営を市内社会福祉法人等へ業務委託し、学校施設内にて実施しております。

議員ご提案の放課後児童クラブにおいて、中学生と小学生が交流を図ることは学校内にとどまらず地域での活動にもつながるなど、大変有意義でありますものの、一方で安全面などの課題もあることから、中学校や運営事業者の意向を確認しつつ、参画方法について調整を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

天野 議長

以上を持ちまして、第三中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第五中学校の皆さんを指名いたします。

第五中学校 【質問】

～質問テーマ～

- (1) 門真れんこんの継承について
- (2) 介護士の待遇問題～人手不足の理由～について

門真市立第五中学校です。

私は、3年の 河野 大希 です。
3年の 松井 愛育 です。
3年の 岩崎 このみ です。
3年の 菅納 彩 です。

よろしく申し上げます。



1 門真れんこんの継承について

私たちが中学生議会で提案したいことは、門真れんこんを継承していくために実際に掘る体験を行うことです。

私たちがこのような提案をするのは、小学生のときに門真れんこんについて学ぶ機

会がありました。そこでは門真の粘土質で鉄分が多く含まれている土壌で育つため、もちりとした食感と強い甘みを味わうことができるということや、急速な市街化が進んだことにより、れんこんを栽培する農家が一気に減少しているということなどを学習したからです。

では、門真市は門真れんこんを継承していくためにどのような取組が行われてきたのでしょうか。

私たちが調べたところ、2018年に特産の農産物を広く近畿圏にPRするため、大阪ガスと門真市共催で「門真れんこん」をメイン食材とした料理講習会が開催されていました。

さらには、大阪府が優れた農業経営を行い、農業の後継者の育成に積極的で、地域農業のリーダーとして活躍している農業者を、「農の匠」として認定しており、門真市内においては、れんこん農家の中西正憲さんと寺内隆史さんが認定されています。中西さんは「門真れんこん」とネーミングするとともに、「門真れんこん屋」を営業し、れんこんを使った料理を提供しています。寺内さんは、れんこんを直売することで門真れんこんのPRを行っています。

このような取組が行われていると知って、考えたことがあります。それは、門真れんこん独特の食感は今までに何度も感じてきました。しかし、れんこんが収穫される過程は小学生のときに話を聞いていたくらいで実際に体験したことがないため、実際に畑に入ってれんこんを掘るという体験をすれば達成感や喜びを感じることができて、より一層門真れんこんの魅力が伝わり、関心を持ってもらえるのではないかとということです。

私たちはこのような考えから、門真れんこんを継承していくために実際にれんこんを掘る体験を行うという提案をします。

2

介護士の待遇問題～人手不足の理由～について

次に、介護士の待遇問題～人手不足の理由～について質問します。

私の母は介護の現場で働いています。そこで見聞きした介護士さんの仕事内容や利用者さんの声を聞いて、思ったことがあります。

私が一番に思うことは、人手がないということです。お風呂介助やトイレ介助、ベッドから車椅子への移動等の重労働、食事介助や各部屋のシーツ替え等の時間のかかる仕事、もちろん夜勤もあり、まさしく一日中働き続ける激務のため、辞めていく人が多く、又新たに介護士を補充する事もできず、だけど仕事量は変わらないために一人ひとりの負担が増えてしまい、結果一人、又一人と辞めていくのが現状だそうです。介護士さんが不足しているという事は直接利用者さんにも影響しています。

週に何回かあるお風呂も介護士不足のために入れられない日もあります。利用者さんたちと、歌を歌ったり、しりとり等をして楽しむ時間も、介護士さんの時間が無ければ

一緒に楽しむ事もできません。人の入れ替わりが激しいために不安に思う利用者さんも少なく無いです。派遣や外国人を雇うしかなく、利用者さんからはコミュニケーションが取れないという声もあるみたいです。

松井さんのお母さんが利用者さんから聞いた言葉で、松井さんが一番衝撃的だったのが「生き地獄や」だそうです。外に出ることができないし、自立できる人はさらに手をかけてもらえない状態で「なんの楽しみもないし、家に帰ることもできひんから、ここは生き地獄や」と言ったそうです。不安や愚痴があっても、忙しくしている介護士さんにゆっくり話を聞いてもらえる時間もなく、これと言った娯楽も無いので自室にこもっている利用者さんもいるみたいです。テレビを観てるのが一番とも話していたようです。通いで利用されているデイサービスの方は、いろんな行事があったり、遊びの種類も豊富で、皆さんとても楽しそうに過ごされているみたいです。

デイサービスは比較的元気な方が利用されているので、全く同じようにできないのは仕方ないのかなと思います。ですが、利用者さんが安心して楽しく過ごせるには、やはり人員を増やすことだと思いました。人がいる事で仕事の分担がしやすくなり、それによって一人ひとりの仕事量の軽減、介護士さんの心の余裕もできると思います。そうなれば、利用者さんとの時間も作りやすく、少しでも楽しい一日が過ごせるのではないかと思います。

たくさんの方が介護士になりたい、やってみようかなと思えるような待遇だったらいいなと思います。それにはやはり給与が大きく関わってくると思います。離職されていった介護士さんはそれぞれ多少細かい理由もありますが「しんどい」「人がいない」「給与が低い」ほとんどの方がこの理由だそうです。全てを一気に対策や解決はできなくとも、まずは人手不足を解消するために、介護職の給与面の見直しが必要と思っていますが、市としてどう思われますか。

門真市立第五中学校からは、以上です。

天野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第五中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第五中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、門真れんこんの継承についてであります。

もちもちとした食感が特長の門真れんこんが育つには、粘土質の土壌が必要であり

実際にその畑に入りご自身の手で土壌をかき分け掘り出す体験は、門真れんこんの魅力伝える貴重な機会の一つになると認識しております。

「門真れんこん堀体験」といたしましては、従前より門真市シルバー人材センターが取り組まれており、令和5年度には、市民公益活動支援センターと連携し、市内在住等の方々を対象に実施されるとともに、第七中学校区地域会議と連携し、同校区に住む小学6年生を対象に実施されております。ぜひ校長先生にも掛け合ってください。

また、市内農業者におきましても不定期ではありますが、各学校等からの要望に応じ、「門真れんこん堀体験」を実施されております。

本市といたしましても、門真れんこんの栽培方法の維持及び後継者の育成を目的とする北河内農業協同組合門真地区営農研究会の取組を支援しており、引き続き、農業者をはじめ関係団体とともに、門真れんこんの継承に努めてまいりたいと考えております。

次に、介護士の待遇問題についてであります。

ご質問のとおり、全国的に介護人材が不足しており、今後、さらに高齢化の進展が予測されるため、将来にわたって必要な介護サービスを安心して受けられるよう、その担い手を確保することは重要な課題であり、加えて、働き続けられる職場環境づくりにおいては、介護士等の処遇改善等が必要と認識いたしております。

国におきましてはこれまでも、介護士等の処遇改善を目的に、複数の加算等を設けるなど対応しており、令和6年度の介護報酬改定においては、確実なベースアップにつながるよう算定要件を再編、統合し、複数の処遇改善加算の一本化と加算率の引上げが行われました。

また、本市におきましては、北河内各市、社会福祉協議会及び介護保険施設の代表者等で構成する北河内地域介護人材確保連絡会議において、それぞれの機関での取組について、情報共有や意見交換等を行い、介護人材の確保及び職場定着の推進に努めているところであります。

介護報酬については、国において決められていることから、今後におきましても、引き続き、介護士等の処遇改善にかかる制度の拡充等、国に要望してまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

天野 議長

以上を持ちまして、第五中学校の質問を終了いたします。



松井 副議長

それでは引き続き、会議を開きます。

私は、門真市中学生議会副議長の第五中学校の3年の松井 愛育です。

議長に代わりまして、議事進行してまいりますので、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは、第四中学校の皆さんを指名いたします。



第四中学校 【質問】

～質問テーマ～

- (1) 門真市の公園をより良くするために
- (2) 道路整備について

門真市立第四中学校です。

私は、1年の 丸山 璃香 です。
1年の 丸谷 あこ です。
1年の 西堀 桃佳 です。

よろしく申し上げます。



1 門真市の公園をより良くするために

私は門真市の公園には自然豊かであったり、子どもがたくさん遊んでいたりと良い所がたくさんあると思っています。ですが、まだまだ課題があると思います。

まず最初にボール遊びについてです。

私の両親や姉が幼少期の頃はほとんどの公園でボール遊びができていたと聞きました。よくドッジボールをしたり、ソフトボールの練習をして遊んでいたらしいです。確かにボールが当たると怪我をする可能性もありますし、道路に出て車に轢かれてしまうかもしれません。ですが、フェンスを取りついたり、音も出ず、人に当たってもあまり怪我をしないバドミントンや柔らかいボールで遊んだり、周りに危害を与え

ないのであればボール遊びをしてもよいと思うのですが、なぜボールを使ってはいけないのでしょうか。

今、東京都の杉並区では、新しい公園のルールを試行しており、ボール等の使用禁止が柔らかいボールなら可能とされており、他にも広場で行う一人練習なら可能となっています。もしこのルールで成功したならば、門真市も同じようにしてみたいかがでしょうか。私たちにもできることがあれば、教えてくださいとありがたいです。

次に、健康遊具です。

公園を利用するのは子どもだけでなくお年寄りの方もいると思います。足腰が悪いお年寄りのために足や体を動かせるような健康遊具があればいいと思います。私が幼少期の頃遊んでいた公園はお年寄りの方もたくさん利用していましたが、健康遊具がないため不便そうだなと思いました。最近、門真市は70代や80代の方が年々増えてきているのですが、今健康遊具のある公園はいくつありますか。少ないのであれば、みんなの公園のために健康遊具などを増やしてくれますか。

最後に、年齢層に合った活動です。

公園を幅広い年齢層の方々が共有することは、とても素晴らしいことであると思います。ですが、遊び方の違いや考え方の違いで食い違うなど、いろんな問題もあると思います。そこで、先ほど質問させていただきましたボール遊びや健康づくりのような年齢層に合った活動ができる公園をつくることはできないでしょうか。

2

道路整備について

次に、道路整備について質問します。

現在、私の住む地域にはいくつかの場所で歩道がデコボコしており、小さい子どもやお年寄りの方が歩くには危ない状態だと思います。そのため、デコボコした歩道にくい歩道はどのように直していますか。

次に、歩道の幅についてお聞きします。

登下校時には、小学生や中学生が集まってグループで歩くことが多くあります。しかし現在の歩道は狭く、特に放課後や行事の時には多くの生徒たちが歩道を行き交うのに加え、自転車も通るので危険な思いをする時があります。歩道が広いと誰もが安全に通行できると思いますが、歩道を広げることはできますか。

私は特に交通量の多い道路において横断しにくい状況についてお聞きします。

私たちの住む地域では、多くの道路が車やバスなどの交通量が非常に多い状態で、しかも信号が設置されていないところがあり、横断歩道を使っても、車が絶えまなく通り過ぎているために安全に渡ることができません。

そのため、信号があれば安全に横断できると思うので、信号を増やしてもらうことはできますか。

今回提案したことは地域住民全体にとって重要なことであるため、皆様には、私た

ち市民の声をしっかりとお聞きいただき対策してもらえることを期待します。今回、貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

門真市立第四中学校からは、以上です。

松井 副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第四中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第四中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

門真市の公園をより良くするためについてであります。

まず、公園のボール遊びにつきましては、市内の公園では、利用者の皆さんの安全・安心の観点から一部の公園を除いて自由にボールを使用しての遊びを禁止しています。

一方で、これまで、ボール遊びや健康遊具の設置など、多様なニーズに対応できるよう、市民ワークショップなどを経て、令和5年3月に門真市パークイノベーション計画を策定し、今ある公園にそれぞれ役割や機能を持たせ、個々の違いを明確化すると共に、公園利用の活性化、計画的な施設改修、維持管理の効率化を図ることとしていきます。

その中で、公園でボール遊びができるようにするには、皆さんをはじめ地域の方々や関係機関などと連携し、使用方法の検討やルールづくりが必要としております。今後、公園で様々な事ができるよう、地域のルールづくりを検討する際には、議員の皆さんも積極的に参加していただくようお願い申し上げます。

次に、健康遊具につきましては、現在、市内の公園 167 箇所中、健康遊具を設置している公園は令和5年3月に開設した野里町南広場を含め9箇所あります。

また、現在、設計を進めております門真みらい小学校横の（仮称）浜町みらい公園についても、健康遊具を設置する予定であります。

健康遊具は、高齢者の健康維持に役立つものと認識しており、新たな公園の開設やリニューアルする際には、地域の方々の多様なニーズに答えられるよう設置について検討してまいります。

次に、年齢層に合った活動につきましては、公園は子どもたちの遊び場として、また、地域住民の憩いの場として利用されており、本市として「人情味あふれる！笑いのたえないまち門真」をまちの将来像として目指す中で、子どもを中心にみんながつながる地域づくりに公園が役立つことが期待されております。

このことから、門真市パークイノベーション計画に基づき、各公園にそれぞれの役

割や機能を持たせることで、年齢層に合った公園利用の活性化や計画的な施設改修を行ってまいります。

今後におきましても、公園利用者の皆様から大事に利用され、未永く愛されるような公園づくりに努めてまいります。

次に、道路整備についてであります。

まず、歩道の修繕につきましては、日常のパトロールや市民の皆様からの電話やメール、LINEの通報システムなどにより、職員が現地の状況を確認したうえで、緊急性や安全性などから修繕や改修の必要性を判断し、都度対応をしております。

次に、歩道の拡幅につきましては、歩行者の安全対策として有効であると認識しており、優先順位を定め順次進めております。

また、歩道の拡幅には用地買収が必要であり、多くの時間と費用を要することから即効性のある手段の一つとして、グリーンベルトやカラー舗装による安全対策にも取り組んでおります。

次に、信号の設置につきましては、警察が所管するところでありますが、市民の皆様からの要望などを踏まえ、交通事故の発生状況、交通流量、道路幅員、信号柱を建てるスペースや歩行者の滞留場所などを考慮のうえ、設置の可否の判断をしているとのことです。

信号の設置が困難な場所につきましては、路面標示による注意喚起を図るなど、引き続き、警察と連携して安全対策を講じてまいりたいと考えております。

今後におきましても安全・安心な道路環境の整備に努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

松井 副議長

以上を持ちまして、第四中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第七中学校の皆さんを指名いたします。

第七中学校 【質問】

～質問テーマ～

- (1) 門真市全体の学力向上について
- (2) 誰もが使いやすい道路について

門真市立第七中学校です。



私は、3年の 天野 楓 です。
3年の 楠木 充月 です。
3年の 浅野 創太 です。

よろしくお願いします。

1 門真市全体の学力向上について

私たちが提案したいことは大きく分けて2つあります。

まず1つは門真市全体の学力の向上についてです。

なぜこの提案をしたかということ、毎年行われるチャレンジテストで、門真市の結果があまり振るわないからです。

また、生徒の語彙力が低く、コミュニケーションに詰まってしまうことがあり、生徒同士の会話で伝えたいことが伝わらない場面があります。これは、将来社会に出たときに問題点になってしまう可能性があります。また、テストや勉強と聞くと、やる気をなくしてしまい、やりたがらない生徒が多いことも問題点として挙げられます。

その解決策として私たちが提案したいのは、5教科の勉強に関するクイズ大会です。

なぜ、これを提案したかということ、以前理科の授業で、kahoot（カフート）という教育向けクイズアプリを使ってクラスの中で順位を競い合ったのですが、勉強が嫌いな人でも楽しく、やる気になってクイズをしていました。なので、勉強が嫌いな人でも楽しく取り組めるクイズ大会を提案します。また、kahootだと生徒が楽しんで勉強できるため、普段から使えるようにしてほしいです。

次に、このクイズ大会についてですが、門真市の中学校6校で競い合うような形にしたいです。そのため、大会は門真市に主催してもらいたいです。

この大会は生徒主体となって行いたいので、全6中学校の生徒たちに事前にGoogleフォームで1人いくつかの問題を作成してもらい、それらを組み合わせて問題を作りたいです。この大会は各学校で予選を行い、そこから選出した各校の代表らが門真市の某所で競い合うような形にしたいです。なので、それを行う場所と時間を確保してほしいです。

最後に、学力向上に関連して一つお願いがあります。学校で使用しているデジタル教材Qubena（キュビナ）についてですが、Qubenaで問題を解いていると、グラフでうまく線が引けなかったり、数字が2乗の表記になったり、ルートの線が短く表記され、間違っただけになるようなことが起こっています。なので、このQubenaのシステムの改善をお願いしたいです。

2 誰もが使いやすい道路について

次に、誰もが使いやすい道路について質問します。

なぜこの質問をしたかという、七中の前の道路やその周辺の歩道が狭く、自転車と歩行者が衝突の危険があるからです。また横断歩道がないところが多く、歩行者が車道を通らないといけないことがあり、事故の危険性があります。

これは私たちの実体験ではありますが、実際に小学校では、横断歩道がないところを渡るのが正式な登校通路になっているところもあったり、横断歩道まで行こうと思ったら、それはそれで歩道がなく車の横を通らなければならなかったりするところもあります。

このことから、自転車と歩行者の衝突事故が起こらないよう歩道を広げることは可能でしょうか。また、歩行者が車道を通らないよう横断歩道を増やしてもらうことは可能でしょうか。

また、私たちの家の近くにある第二京阪道路の下をくぐる道の見通しが悪く、前から来る人がカーブミラーに映らず、実際に事故が起っています。私たち自身もこの道路で何度か自転車と衝突しそうになったり、雨の日には傘をさして歩いている歩行者を避けることができなかつたりするので、安全対策をしてもらうことは可能でしょうか。

そして、七中前の一本道の街灯が少なく、七中前の畑からカメが飛び出てきてカメが轢かれている姿がよく確認されています。日中はカメが見えるので轢かれることがほとんどないのですが、夜中は街灯が少なくカメが轢かれることがよくあり、カメの死骸があることにより、自転車が転びやすくなり事故が起こりやすくなっています。また、夜だと見通しが悪く、自転車と歩行者がさらに衝突しやすくなっています。さらに、実際に中学生と高校生とのトラブルが起っており、防犯面という意味でも街灯を増やしてもらうことは可能でしょうか。

門真市立第七中学校からは、以上です。

松井 副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第七中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第七中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、学力向上についてであります。

中学生チャレンジテストについては、議員ご指摘の通り、大阪府の平均値に届いていない状況であります。また、議員が問題点として挙げておられるとおり、学習に向

かう「意欲」や「やる気」などは学力向上の土台として重要な要素であると私も考えております。

本市では令和2年度からの3年間、教育委員会と学校とが一体となり「学力向上アクションプラン」という取組を進め、5年度の学力調査では小学校の国語・算数、中学校の国語・英語について「過去最高の数値」となりました。

さらに今年度からは子どもたちの将来の自立に向けて、「子ども主体の学び」と「探究的な学び」を柱とした、より一層の授業改善を進めております。

議員ご提案の市内6校でのクイズ大会は、その「子ども主体の学び」と「探究的な学び」につながるものであり、大変よいアイデアであると感じました。生徒自身が主体となり、Google フォームを活用して問題を作成したり、ICT 機器を活用したクイズ大会等で楽しく学習したりすることにより、生徒自身がこれまで以上に自ら学ぶ力を身に付けていくことは、まさに「子ども主体の学び」であります。市といたしましても、皆さんからのアイデアを今後の教育施策に少しでも反映できるよう調査研究してまいります。

また、より「探究的な学び」を深めるためには、クイズ大会の企画・運営や、関係者への依頼・調整等にも生徒の皆さん自身が関わり、実行していくことに大きな意味があるのではないかと感じております。もちろん、市といたしまして会場の確保等も含めて全面的に協力をさせていただきますが、活動時間の確保や参加のしやすさから、学校では総合的な学習の時間の活用、オンラインの活用などの工夫も検討していただき、各校が参加しやすい体制を構築されることが望ましいかと思っております。

次に、AIドリル Qubena についてであります。

昨年度にも、解答の認識違いや、グラフや図形の作図に関わる不具合等についても申し入れを行い、改善を図ってきたところであります。今後も可能な限り、提供元であるコンパス社へは申し入れを行ってまいります。

次に、誰もが使いやすい道路についてであります。

まず、道路を広くすることにつきましては、歩行者等の通行の安全対策として有効であると認識しており、優先順位を定め順次進めております。

また、道路拡幅には、用地買収が必要となり、多くの時間と費用を要することから、即効性のある手段の一つとして、グリーンベルトやカラー舗装による安全対策にも取り組んでおります。

次に、横断歩道を増やすことにつきましては、設置の可否は警察が判断するものでありますが、市民の皆様からの要望等を踏まえ、交通事故の発生状況、車の交通量及び横断歩行者が多い場所を基準とし、設置を検討するとのことです。

また、道路管理者の市としても状況を確認し、必要に応じ、警察と協議してまいります。

次に、三ツ島北部線と第二京阪道路が交差するアンダーパス部分につきましては、見通しのきかない箇所であると認識しておりますが、第二京阪道路の構造物が干渉す

るため、道路の線形を変更することは困難と考えております。しかしながら、供用を開始してから15年程度経過しており、一部の路面標示は摩耗等により薄くなり、視認性が悪くなっていることから、標示を再設置するなど安全対策を図ってまいります。

次に、街灯を増やすことについてであります。道路に設置する照明灯には、道路上の通行者や道路の形状などを確認しやすくするための、本市が交差点などに設置する道路照明灯と主に生活道路において地域の自治会などが設置する防犯灯があります。

照明灯を設置することで視認性が良くなり、夜間における通行の安全性向上や犯罪の未然防止に寄与するものと認識しており、対策が必要な箇所におきましては、道路照明灯の設置を検討するほか防犯灯の設置についても、引き続き、地域の自治会などへ支援してまいります。

今後におきましても安全・安心な道路環境の整備に努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

松井 副議長

以上を持ちまして、第七中学校の質問を終了いたします。

続きまして、門真はすはな中学校の皆さんを指名いたします。

門真はすはな中学校 【質問】

～質問テーマ～

(1) まちおこしについて

門真市立門真はすはな中学校です。

私は、3年の 石川 龍幸 です。
3年の 三浦 由梨奈 です。
2年の 榎木 文愛 です。
2年の 渡邊 樹菜 です。
2年の 立川 盛之 です。



よろしく申し上げます。

1 まちおこしについて

私たちは、まちおこしをテーマに話し合いました。

私たちの住んでいる地域ではどのようにまちを豊かにしているか、またどのように私たちが豊かにしていけるかについて意見を出し合いました。その話し合いの中で、新たな公共施設の設置と、空き家、空き店舗を活用したにぎわい創出について、そして若者を対象とした行事についての意見が出ました。

そこで、私たちは、この3点をご提案させていただきます。

はじめに、新たな公共施設の設置についてです。

私たちは門真市の課題として、にぎわいについて取り上げたいと思います。にぎわいにもたくさんの種類があると思いますが、私たちは特に公園とそこで行うイベントの2つについて提案があります。

まず、門真市の公園には、ボール遊びやスケートボードができる公園が少なく、子どもが遊べる環境をもう少し増やすべきだと思います。そこで、大きめの公園を作ることをご提案します。

そこで身近なボール遊びなどができると、地域の方々が集まり、にぎわう公園づくりにつながると思います。また、スケートボードができる場所等、珍しい施設を作ると、他の地域から遊ぶことを目当てに人が集まり、さらににぎわう公園になると思います。

そして、大きめの公園をつくることで、祭りやフリーマーケット、キッチンカーや出店などのイベントの開催もできるのではないかと考えました。イベントの開催を行うと、イベント目当てで人が集まったり、もともと遊び目的で来てた人も寄り道感覚でイベントを楽しむことができ、まちとしては人が集まり、にぎわいを感じることができるため、お互い良い関係をつくることができると思います。

次に、空き家、空き店舗を活用したにぎわい創出についてです。

私たちの周辺では空き家や空き店舗が多く見られるように感じます。また、その周辺ではにぎわいが少ないと思います。そこで、にぎわいの多い地域が取り入れている活動について考えました。

にぎやかなまちでは、古着の無人販売や、若者に人気の食べ物のお店が並んでいるのをよく見ます。そこで、空き家や空き店舗を活用して新たな店舗などを設置するというのはいかがでしょうか。今ある空き家、空き店舗では無人販売や飲食店のスペースを確保することは可能だと考えています。

最後に行事についてです。

門真市は新しく、ららぽーとなどの施設が建設されましたが、行事に関してはどうでしょうか。門真市の行事は様々なものがあると思いますが、私たちは、門真市で新しく若者を対象としたイベントを開催してほしいと思います。

特に、市内企業の工場を自由に見学できたり、流行を取り入れたマルシェなどの若者を対象とするイベントは、他の地域では中々見受けられないので、門真市に興味を持つ方が増え、にぎわいを得られると思います。

これら3点の提案について、市としてどのようにお考えか教えてください。
門真市立門真はすはな中学校からは、以上です。

松井 副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

門真はすはな中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立門真はすはな中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

新たな公共施設の設置についてであります。

公園は、利用者のすべてが安全かつ安心して過ごせる空間とすることから、議員ご指摘のとおり、市内の多くの公園ではボール遊びやスケートボードの使用を禁止しております。

議員ご提案の大きめの公園をつくる事につきましては、ボール遊びや、スケートボードの使用などの多様な利用者ニーズに応えることができるほか、公園でのイベント開催についても実施可能となり、にぎわいと活気を生み出す事が期待できるものと考えます。

これら多様なニーズに対応できるよう、公園の在り方について、本市では、今ある公園にそれぞれ役割や機能を持たせ、個々の違いを明確化すると共に、公園利用の活性化、計画的な施設改修、維持管理の効率化を図ることを目的に令和5年3月に門真市パークイノベーション計画を策定しており、その中の具体方策に基づき、南東地域まちづくりなどの関連事業に伴う新たな公園等の整備に際して、検討してまいりたいと考えております。

今後も、門真市パークイノベーション計画の基本目標である「公園もまちも一緒に考えて、みんながもっと楽しめる公園に！」の達成をめざし、にぎわいの創出に資する公園づくりに努めてまいります。

次に、空き家、空き店舗を活用した賑わい創出についてであります。

全国的に空き家等が増加し、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることもあり、平成26年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が公布され、本市におきましても31年に「門真市空家等対策計画」を策定し、適正管理や利活用の促進等に取り組んでいるところであります。

現在、門真市駅周辺や古川橋駅周辺において、まちの将来イメージを共有する「未来ビジョン」を策定しており、それに基づき公民連携によるまちづくり事業を展開す

ることで、エリアの価値向上に繋がり、民間事業者による空き家、空き店舗の活用ニーズが生まれる事が予測され、現に、空き家を活用した民泊事業者や設計事務所が入っており、更に新たな店舗の出店の計画もあることから、今後も空き家、空き店舗を活用した新たな店舗等の設置が増えてくるものと考えております。

次に、行事についてであります。

ご提案いただいた、市内企業の工場を自由に見学できる取組につきましては、複数のまちが連携し、企業が主体となって広域的に開催されるオープンファクトリーイベント「FactorISM (ファクトリズム)」に本市も従前より協力しており、今年も10月24日から4日間、開催される予定です。工場内にて、ものづくりの現場を体験、体感できるイベントとなっており、多くの方にご参加いただけますよう、若い方々に対する周知に努めてまいります。

流行を取り入れたマルシェ等の催しにつきましては、現在、公民連携まちづくりの一環として、民間事業者と連携したマルシェ等のイベントを市内各地で開催しており、様々な事業者が参画できる機会が生まれております。

その際、若者に人気のフードやアクセサリなどの雑貨を扱う店舗の出店や、スケートボード等のアーバンスポーツ体験企画など様々な内容で実施しており、これからもSNSを活用したイベントの周知など幅広い広報活動を続けてまいります。

また、本市では、門真市駅周辺及び古川橋駅周辺におけるまちづくりにおいて、イベント等が実施できる交流広場等の整備を検討しております。

整備後は、より多様なイベントの開催が可能となり、議員ご指摘の門真市に興味を持つ方が増え、にぎわいを得られることに繋がるものと考えております。

なお、10月18日から3日間は門真市駅周辺で、11月7日から4日間は古川橋駅周辺で、将来整備されるまちを想定した社会実験を実施する予定ですので、是非、ご家族ご友人お誘いあわせのうえ、ご来場くださいますようお願い申し上げます、私からのご答弁とさせていただきます。

松井 副議長

以上を持ちまして、門真はすはな中学校の質問を終了いたします。

以上で質問は、すべて終了いたしました。

皆様のご協力に感謝いたします。

本日、この本会議場で、中学生議員として、宮本市長に、ご答弁いただくという貴重な体験をしました。

この経験を活かし、これからも「住み続けたいまち・門真」にするには、どうすれば良いのか、引き続き考えていきたいと思っております。

これを持ちまして、「第11回門真市中学生議会」を閉会いたします。



閉 会

教育長挨拶

門真市教育長の八木下でございます。

第 11 回門真市中学生議会の閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

市内各中学校から 20 名の生徒の皆様にご参加いただき、第 11 回門真市中学生議会を開催できましたことに、厚く御礼申し上げます。

今日は、中学生議員の皆さんが普段生活する中で感じた課題や疑問から、「教育」「子育て支援」「まちづくり」「シティプロモーション」「福祉」など、幅広いテーマにわたって質問・提案をいただきました。皆さんの「門真市をもっと良くしたい」という熱い思いと「門真市のために自分たちにできることは何だろうか」と考える姿勢に、「門真市の未来は明るい」ととても心強く感じたところです。

今、門真市内の学校の先生たちと一緒に「探究的な学び」にもっと力を入れていこうとしています。今回皆さんが取り組んだように、普段の生活や自分の身の回りのことから課題を見つけ、それを解決するための方策を考えて提案し、そして実際にやってみる、そんな学びに学校の授業の中で取り組んでいきたいと考えています。今日皆さんからは、市に対して様々な提案をいただきましたが、市ができることだけでなく、皆さん自身ができることもたくさんあるのではないかと思います。中学生議会で提案したら終わりではなく、その実現のために、市ももちろん努力しますが、皆さんも自分たちにできることを考え続け、そして実現に向けてチャレンジしていってもらえたらと思います。それが今後社会に出たときに求められる力につながっていきます。

これからも今回の経験を活かし、門真市のことにとどまらず広く社会や世界に関心を持ち、社会の課題に対して自分にできることを考え、その実現に向けてチャレンジしていくことで、自分ごととして社会に貢献する「カッコイイ大人」になってほしいと願っています。未来の社会をつくるのは、皆さんたち自身です。

結びに、閉会にあたりまして、本日、傍聴にお越しいただきました保護者の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも本市の子どもたちが、心豊かでたくましく育つことができるよう、ご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

以上をもちまして、私からの閉会のご挨拶といたします。

本日は、誠にありがとうございました。



令和6年度(第11回)門真市中学生議会 席列

傍聴席

傍聴議員席

傍聴議員席

	浅野 創太	楠木 充月	議 長 天野 楓
第七中			

石川 龍幸	三浦 由梨奈	檜木 文愛	渡邊 樹菜
門真はすはな中			

	岩崎 このみ	松井 愛育	副 議 長 河野 大希
菅納 彩	第五中		

丸山 瑠香	丸谷 あこ	西堀 桃佳	立川 盛之
第四中			門真はすはな中

鈴木 愛理	中山 美咲	
第二中		

岡田 莉央	若林 ゆうな	永橋 珠璃
第三中		

質問席

	市議会副議長 後藤 太平	市議会議長 池田 治子
--	--------------------	-------------------



副市長 菊川 亮	副市長 下治 正和	市長 宮本 一孝
----------------	-----------------	----------------

教育長 八木下 理香子	教育部長 水野 知加子
-------------------	-------------------

総務部長 宮口 康弘	企画財政部長 大矢 宏幸	秘書課長 白川 豊
------------------	--------------------	-----------------

こども部長 寺西 乾二	まちづくり部長 まちづくり部長 長 義浩	環境水道部長 廣田 真紀
-------------------	-------------------------------	--------------------

市民文化部長 高田 陸慶	保健福祉部長 吉井 義輝	市民文化部長 山 敬史
--------------------	--------------------	-------------------

会計管理者 三宅 聖子	行政委員会総合事務局長 小野 義幸
-------------------	-------------------------

議会議務局	議会議務局	
-------	-------	--

写 真 集

集合写真



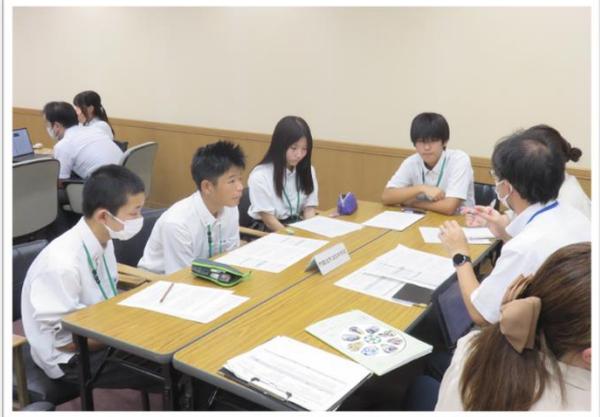
菅納 彩 岩崎 このみ 河野 大希 浅野 創太 楠木 充月 石川 龍幸 三浦 由梨奈 楢木 文愛 渡邊 樹菜 立川 盛之
中山 美咲 鈴木 愛理 岡田 莉央 若林 ゆうな 永橋 珠璃 西堀 桃佳 丸山 瑠香 丸谷 あこ
菊川 副市長 下治 副市長 宮本 市長 天野 楓 松井 愛育 池田 市議会議長 後藤 市議会副議長 八木下 教育長

議会風景





事前学習会



市長と記念撮影

第二中学校



第三中学校



第四中学校



第五中学校



第七中学校



門真はすはな中学校





中学生議会を体験し、行政の仕組み・
役割などを学び、社会参画する市民の
一員として成長されることを願って
います。
お疲れ様でした！！

